

# 選 択 約 款

( 小 型 空 調 契 約 )

平成26年4月1日 実施

西 日 本 ガ ス 株 式 会 社

## 1. 目的

この選択約款は、負荷調整を推進しつつ当社の製造供給設備の効率的利用を図り、以て合理的・経済的なガス需要の確立に資することを目的といたします。

## 2. 選択約款の届出及び変更

- (1)この選択約款は、ガス事業法第17条第7項もしくは第12項の規定に基づき、九州経済産業局長に届け出たものです。
- (2)当社は、九州経済産業局長に届け出てこの選択約款を変更することがあります。この場合、使用者との需要契約の内容を、変更後の選択約款とするものとします。

## 3. 用語の定義

- (1)「小型空調機器」・・・エネルギー源としてガスを使用する空調用熱源機のうちガスエンジンヒートポンプ方式の機器および冷凍能力 105.5kw(30US. RT)以下のガス吸収式をいいます。
- (2)「その他期」・・・4月使用分（3月検針日の翌日から4月検針日まで）から11月使用分（10月検針日の翌日から11月検針日まで）までの8か月間をいい、「冬期」とは、12月使用分（11月検針日の翌日から12月検針日まで）から3月使用分（2月検針日の翌日から3月検針日まで）までの4か月間をいいます。
- (3)「消費税等相当額」・・・消費税法に基づき消費税が課せられる金額に、消費税法に基づく税率を乗じて得た金額、および地方税法に基づき地方消費税が課せられる金額に、地方税法に基づく税率を乗じて得た金額をいいます。この場合、その計算の結果、1円未満の端数が生じた場合には、その端数の金額を切り捨てます。
- (4)「単位料金」・・・8に定める基準単位料金または調整単位料金をいいます。
- (5)「消費税率」・・・消費税率の規定に基づく税率に地方税法の規定に基づく税率を加えた値をいいます。なお、この選択約款においては8%といたします。

## 4. 適用条件

使用者が、小型空調機器を使用し、小型空調機器のガス使用量を計量する専用のガスメーター（以下「小型空調機器専用ガスメーター」といいます。）を設置する場合には、当社に対してこの選択約款の適用を申し込むことができます。

## 5. 契約の締結

- (1)使用者は、この選択約款に基づき当社と協議のうえ、適用する料金その他の供給条件を定めた小型空調契約1種、小型空調契約2種または小型空調契約3種、のいずれかを当社と契約していただきます。
- (2)契約期間は次のとおりといたします。
  - ①新たにガスの使用を開始した場合は、料金の適用開始の日から同日が属する月の翌月を起算月として12か月目の月の検針日までといたします。
  - ②契約種別を変更した場合は、変更後の契約の契約期間は、契約種別の変更の日の翌日か

らその変更の日の属する月の翌月を起算月として 12 か月目の月の検針日までといたします。ただし、契約期間満了時において当社とお客さまの双方から契約内容について異議のない場合には、契約は、契約期間満了日の翌日からその満了日の属する月の翌月を起算月として、12 か月目の月の検針日まで同一条件で継続するものとし、以降も同様といたします。

(3) 当社は、本契約の契約期間満了前に解約または供給約款に定める料金への変更をした使用者が、再度同一需要場所で本契約の申し込をする場合、その適用開始の希望日が過去の契約の解約の日または契約種別の変更の日から 1 年に満たない場合には、当社は、その申し込みを承諾しないことがあります。ただし、設備の変更または建物の改築等のための一時的不使用による解約または契約種別の変更の場合はこの限りではありません。(5) において同じ)

(4) 当社は、本契約の規約期間満了前にこの選択約款に定める他の契約種別または他の選択約款(供給約款に定める料金を除きます。)への変更を申し込みされた場合には、その申し込みを承諾しないことがあります。

## 6. 使用量の算定

各月使用分の使用量は、前月の検針日および当該月の検針日におけるガスメーターの読みにより算定いたします。ただし、当該月の検針日以降、当該月内に解約を行った場合には、当該月の検針日および解約を行った日のガスメーターの読みにより算定いたします。

## 7. 料 金

(1) 当社は、料金の支払いが、支払義務発生の日の翌日から起算して 20 日以内(以下「早取期間」といいます。)に行われる場合には、早取料金(消費税等相当額を含みます。)を、早取期間経過後に支払いが行われる場合には、早取料金を 3 パーセント割増ししたものを(以下「遅取料金」といい消費税等相当額を含みます。)を料金として支払っていただきます。なお、早取料金の最終日が休日の場合には、直後の休日でない日まで早取期間を延伸いたします。

(2) 当社は、別表の各料金表を適用して、早取料金または遅取料金を算定いたします。

## 8. 単位料金の調整

(1) 当社は、毎月、(2)②により算定した平均原料価格が(2)①に定める基準平均原料価格を上回りまたは下回る場合には、次の算式により別表の各料金表の基準単位料金に対応する調整単位料金を算定いたします。この場合、基準単位料金に替えてその調整単位料金を適用して早取料金を算定いたします。なお、調整単位料金の適用基準は、別表 2.(3)のとおりといたします。

① 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金(1立方メートル当たり)

＝基準単位料金＋0.127円×原料価格変動額／100円×(1＋消費税率)

② 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

調整単位料金（1立方メートル当たり）

＝基準単位料金－0.127円×原料価格変動額／100円×（1＋消費税率）

（備考）

上記の算式によって求められた計算結果の小数点第3位以下の端数は、切り捨て。

（2）（1）の基準平均原料価格、平均原料価格及び原料価格変動額は、以下のとおりといたします。

① 基準平均原料価格（トン当たり）

67,220円

② 平均原料価格（トン当たり）

別表2.（3）に定められた各3か月間における貿易統計の数量および価額から算定したトン当たりLPG平均価格（算定結果の10円未満の端数を四捨五入し10円単位といたします。）をもとに算定し、算定結果の10円未満の端数を四捨五入した金額といたします。ただし、その金額が107,550円以上となった場合は、107,550円といたします。

（備考）

トン当たりLPG平均価格は、当社の本社等に掲示いたします。

③ 原料価格変動額

次の算式で算定し、算定結果の100円未満の端数を切り捨てた100円単位の金額といたします。

（算式）

イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

原料価格変動額＝平均原料価格－基準平均原料価格

ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

原料価格変動額＝基準平均原料価格－平均原料価格

## 9. その他

（1）その他の事項については、供給約款を適用いたします。

付 則

1. 本供給約款の実施期日

本供給約款は平成26年4月1日から実施いたします。

2. 本供給約款の実施に伴う切り替え措置

当社は、平成26年3月31日以前から継続して供給し、平成26年4月1日から平成26年4月30日までに支払義務が初めて発生するものについては、消費税率を5%といたします。

(別 表)

1. 適用区分

料金表 1 小型空調契約 1 種に適用いたします。

料金表 2 小型空調契約 2 種に適用いたします。

料金表 3 小型空調契約 3 種に適用いたします。

2. 早収料金の算定方法

(1) 早収料金は、基本料金と従量料金の合計といたします。

(2) 従量料金は、基準単位料金または 8 の規定により調整単位料金を算定した場合は、その調整単位料金に使用量を乗じて算定いたします。

(3) 調整単位料金の適用基準は次のとおりといたします。

① 料金算定期間の末日が 1 月 1 日から 1 月 31 日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年 8 月から 10 月までの平均原料価格に基づき算定した冬期の調整単位料金を適用いたします。

② 料金算定期間の末日が 2 月 1 日から 2 月 28 日(うるう年は 2 月 29 日)に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年 9 月から 11 月までの平均原料価格に基づき算定した冬期の調整単位料金を適用いたします。

③ 料金算定期間の末日が 3 月 1 日から 3 月 31 日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年 10 月から 12 月までの平均原料価格に基づき算定した冬期の調整単位料金を適用いたします。

④ 料金算定期間の末日が 4 月 1 日から 4 月 30 日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年 11 月から当年 1 月までの平均原料価格に基づき算定した冬期の調整単位料金を適用いたします。

⑤ 料金算定期間の末日が 5 月 1 日から 5 月 31 日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年 12 月から当年 2 月までの平均原料価格に基づき算定した冬期の調整単位料金を適用いたします。

⑥ 料金算定期間の末日が 6 月 1 日から 6 月 30 日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年 1 月から 3 月までの平均原料価格に基づき算定した冬期の調整単位料金を適用いたします。

⑦ 料金算定期間の末日が 7 月 1 日から 7 月 31 日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年 2 月から 4 月までの平均原料価格に基づき算定した冬期の調整単位料金を適用いたします。

⑧ 料金算定期間の末日が 8 月 1 日から 8 月 31 日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年 3 月から 5 月までの平均原料価格に基づき算定した冬期の調整単位料金を適用いたします。

⑨ 料金算定期間の末日が 9 月 1 日から 9 月 30 日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年 4 月から 6 月までの平均原料価格に基づき算定した冬期の調整単位料金を適用いたします。

⑩ 料金算定期間の末日が 10 月 1 日から 10 月 31 日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年 5 月から 7 月までの平均原料価格に基づき算定した冬期の調

整単位料金を適用いたします。

⑪料金算定期間の末日が11月1日から11月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年6月から8月までの平均原料価格に基づき算定した冬期の調整単位料金を適用いたします。

⑫料金算定期間の末日が12月1日から12月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年7月から9月までの平均原料価格に基づき算定した冬期の調整単位料金を適用いたします。

### 3. 料金表

#### (1) 料金表1 (小型空調契約1種)

##### ①基本料金

1ヶ月につき	4,320.00円
--------	-----------

なお、付則2を適用する場合は下記といたします。

1ヶ月につき	4,200.00円
--------	-----------

##### ②基準単位料金

	冬 期	その他期
1立方メートルにつき	156.96円	151.56円

なお、付則2を適用する場合は下記といたします。

	冬 期	その他期
1立方メートルにつき	152.60円	147.35円

##### ③調整単位料金

②の基準単位料金をもとに、8の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

(2) 料金表 2 (小型空調契約 2 種)

①基本料金

1ヶ月につき	2,160.00円
--------	-----------

なお、付則 2 を適用する場合は下記といたします。

1ヶ月につき	2,100.00円
--------	-----------

②基準単位料金

	冬 期	その他期
1立方メートルにつき	166.68円	160.20円

なお、付則 2 を適用する場合は下記といたします。

	冬 期	その他期
1立方メートルにつき	162.05円	155.75円

③調整単位料金

②の基準単位料金をもとに、8の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。



(3) 料金表3 (小型空調契約3種)

①基本料金

1ヶ月につき	756.00円
--------	---------

なお、付則2を適用する場合は下記といたします。

1ヶ月につき	735.00円
--------	---------

②基準単位料金

	冬 期	その他期
1立方メートルにつき	178.56円	169.92円

なお、付則2を適用する場合は下記といたします。

	冬 期	その他期
1立方メートルにつき	173.60円	165.20円

③調整単位料金

②の基準単位料金をもとに、8の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。